

# 熊本“いい川”づくり研修会 2015

テーマ:防災・減災と多自然川づくり

■対象:行政・設計・施工事業者の川づくり担当者、研究者、市民・住民、学生など、川づくりに関心の高い方  
建設系 CPD (建設コンサルタンツ協会) 単位付与プログラム

近年、全国各地で雨の降り方が局地化・激甚化してきており、このような気象の変化を「新たなステージ」と捉え、これによる災害を回避する取組が求められる中、過去に発生した災害やリスクへの防災・減災情報を共有化することにより、自助・共助を基本とした行政・企業・地域住民の防災意識の改革に努めています。

一方、平成 18 年 10 月に示された「多自然川づくり基本指針」を受け、「多自然川づくり研究会」(座長:島谷幸宏)は、川づくりの考え方、計画、施工に関する技術等を示したポイントブック(I~III)を作成してきており、各地の河川特性を考慮した魅力ある川づくりを進めるため地域研修の要請が高まり、2012 年より各地で実施されています。

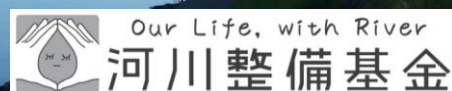
本研修会は、これまで推進されてきた多自然な川づくりとともに今後の防災・減災のあり方についても焦点をあて、熊本での災害対応等も踏まえ、さらなるスキルアップを目指すものです。加えて、参加する機会の少なかった市民・住民の方々の参加も求め、議論しながら研修を行う公開型ワークショップ方式としたいと考えます。

日時:2015 年 12 月 18 日(金) 9:30~17:00

会場:熊本県庁地下大会議室(熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号)

主催:NPO法人全国水環境交流会、熊本県、  
熊本大学大学院自然科学研究科

後援:国土交通省九州地方整備局、熊本県河川海岸防災協会



- 9:00 開場, 受付開始  
9:30 開会の挨拶 山道省三(NPO法人全国水環境交流会)、九州地方整備局、熊本県  
【午前の部:新たなステージに向けた白川の防災・減災の取り組み】  
9:35 講座1「白川緑の区間の景観デザイン」星野裕司(熊本大学大学院自然科学研究科)  
10:15 報告1「白川における防災・減災について」国土交通省熊本河川国道事務所  
10:35 報告2「白川龍田陳内4丁目における河川改修」熊本県土木部河川課  
10:55 講座2「技術者復権 -委員会 の作り方-」小林一郎(熊本大学大学院自然科学研究科)  
11:35 質疑(午前の部)  
<11:50-昼休>  
【午後の部:多自然川づくりの取り組み】  
13:00 講座3「多自然川づくりの考え方と実践」吉村伸一(吉村伸一流域計画室)  
13:40 報告3「菊池川における河道の二極化対策-土砂堆積の抑制を目指して」国土交通省菊池川河川事務所  
14:00 講座4「九州における多自然川づくりの事例と今後の課題」皆川朋子(熊本大学大学院自然科学研究科)  
14:30 質疑(午後の部)  
14:45 演習「多自然川づくりの技術演習」島谷幸宏(九州大学大学院工学研究院)  
<15:35 休憩>  
15:45 意見交換会 コーディネーター:島谷幸宏  
17:00 閉会の挨拶 熊本県河川課、熊本大学



■200名(先着順) ※定員になり次第しめきります

参加費(無料) \*別途、「多自然川づくりポイントブックⅢ」(2,500円) ※申込時に事前販売。当日は持参してください

【お申し込み】 \*メールまたはファクシミリで、下記内容を事務局までお申し込みください。

お名前 ※複数名記入可	※CPD 受講者はお名前の前に○印をご記入ください
ご所属 ※代表者のみ	
連絡先 ※代表者 (上記所属・自宅・その他) ○印をつけてください	〒 TEL FAX E-MAIL
*『多自然川づくりポイントブックⅢ』(多自然川づくり研究会編, 2011)の事前申込 2,500円 × ( )冊 合計	

【事務局】 NPO法人全国水環境交流会 ファクシミリ 03-5772-1608 E-mail: [mizukan@mizukan.or.jp](mailto:mizukan@mizukan.or.jp)

TEL 03-3408-2466 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-20-14 神宮村301

本研修会は公益財団法人 河川財団による河川整備基金の助成を受けています。